

観光経済新聞100年への提言

創刊100年に向け、本紙の進むべき道とは何か。長年本紙と深く関わられてきた識者や経営者、これからを担う経営者に、本紙に期待する、果たすべき役割について、提言を頂いた。

本保 芳明氏

アジア太平洋観光交流センター(APTEC)理事長

創刊75周年、誠にめでたうございます。75年の長きにわたって、新聞発行を続けることは、まさに同僚の続けられてきたこと自身、至ります。

が、観光業界の貴紙への信頼と支持の証であり、読者の一人としても、感謝と敬意を表する次第です。

観光界においてこの75年、易宿泊所や民泊が急増する間でも目覚ましい変化は、観光の社会的地位の著しい向上とインバウンド急増による観光産業の構造変遷とを考えると、観光の社会的地位向上について、貴紙が、その先導役の一端を担ってこられたことが驚かされております。



観光経営の改革と発展の道標に

また、貴紙は、日本の観光75年を継続してカバーしてきた貴重な歴史の証人でもあります。紙媒体としての特性を生かして、日本の観光づくりにも大きな役割を果たすことを期待しています。観光経済新聞が、引き続き観光経営の改革と発展の道標となることを期待しています。

田川 博己氏

東商トラベル&ツーリズム委員長

観光経済新聞が、75年にわたり観光や旅行の専門紙として業界の発展に貢献されてこられたことに、心から敬意を表します。

観光という言葉は、国際的にはトラベル&ツーリズムと言います。トラベルは、旅行で、ツーリズムは私が2018年に出版した「観光先進国をめざして」の中で、観光消費を促すとともに、新たな価値観を創り出す活動」と定義しました。ツーリズムには、人々の交流を通じて新たな価値観を創出する力があります。



今こそツーリズム産業の基幹産業化実現を！

観光経済新聞には、観光庁が文化庁やスポーツ庁と一緒に、観光省を設立する機運醸成を図り、ツーリズム産業の真の基幹産業化を実現することを期待しています。また、観光立国の基本理念である「住んでよし、訪れてよしの国づくり」を地域経済活性化に向け、強力に推進するべき時と考えます。

佐藤 洋詩恵氏

日本の宿 古案 女将

紙幣30号を優に超え、めったに創設75周年をお祝いする機会を、心から祝う。湯の町かみのやまでの女将の業に戸惑いを覚えず、昭和100年の節目の光を

紙幣30号を優に超え、めったに創設75周年をお祝いする機会を、心から祝う。湯の町かみのやまでの女将の業に戸惑いを覚えず、昭和100年の節目の光を

紙幣30号を優に超え、めったに創設75周年をお祝いする機会を、心から祝う。湯の町かみのやまでの女将の業に戸惑いを覚えず、昭和100年の節目の光を



双方向の交流できる紙面を切望

ただ「損」か「得」かで動くという損得社会になってしまっているからではないかと。宿の女将像にしても、「私はこうしてきた。この宿を継ぐのだからこうしたい」と旅に出るの

西村 総一郎氏

西村屋 社長

私が家業である旅館業に携わるようになったのは2000年11月で、間もなく四半世紀が過ぎようとしています。その間、インターネットの普及や宿泊予約の流通経路が多様化し、こ

私が家業である旅館業に携わるようになったのは2000年11月で、間もなく四半世紀が過ぎようとしています。その間、インターネットの普及や宿泊予約の流通経路が多様化し、こ



「観光の力」による地域課題解決への寄与に期待

・中学校と隣の校区の小・中学校4校を定ると児童生徒数は2015年で420

梅川 智也氏

國學院大学 観光まちづくり学部 教授

創刊75周年、おめでとうございます。75年前にえ

創刊75周年、おめでとうございます。75年前にえ

創刊75周年、おめでとうございます。75年前にえ



業界新聞の枠を越え観光の進路示して

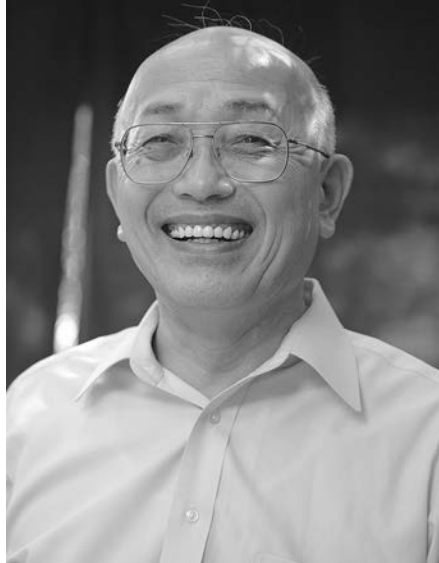
政策が国全体の課題である人口減少、地方創生、産業再生、美しい国土づくりなど国づくりの柱に「観光」を位置づけているからに他なりません。政府・与党は出国税として1人当たり1千円を徴収

佐藤 好億氏

日本秘湯を守る会 名誉会長

日本秘湯を守る会は今年4月、創立50周年を迎えました。昭和50年4月、朝日

日本秘湯を守る会は今年4月、創立50周年を迎えました。昭和50年4月、朝日



宿の声に耳を傾けた心ある記事を

思っていたこと。岩木氏の遺した言葉を次世代に受け継ぎ、創立50周年を機に、『岩木三語録』を発刊しました。三語録は、観光経済新聞の声を傾け、旅と観光の在り方を問い続ける、心ある記事をお願いし